



別寒辺牛川水系及び厚岸湖・厚岸湾に生息する イトウ (*Hucho perryi*)成魚の行動生態の解明

鍵和田 玄*・高橋 伸幸*・大坪 澄生**・宮下 和士***

* 北海道大学大学院環境科学院 ** 北海道大学水産学部 *** 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

イトウってどんな魚？



イトウ

- 日本で最も大きな淡水魚
- >1.5mに成長し, 15 年以上生きる
- 日本では現在北海道のみに生息
- 絶滅危惧種IA類に指定 (IUCN)

研究の目的

- 季節的な生息域や移動を明らかにする
- イトウが利用する生息環境を理解する
- 生態情報を長期的に収集し、年毎の変化を見る

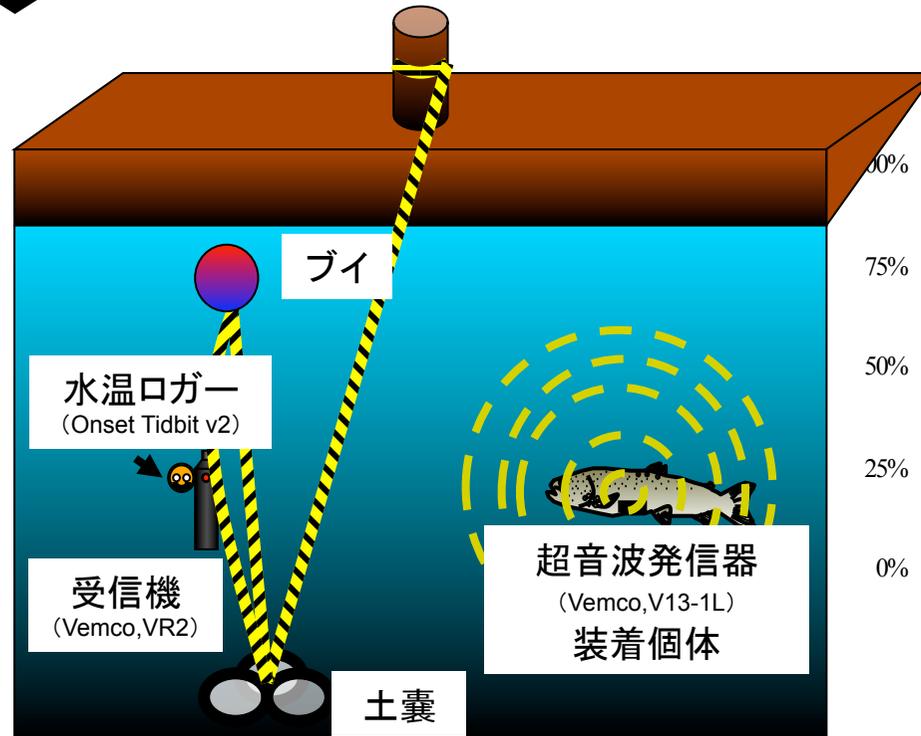


研究手法と結果

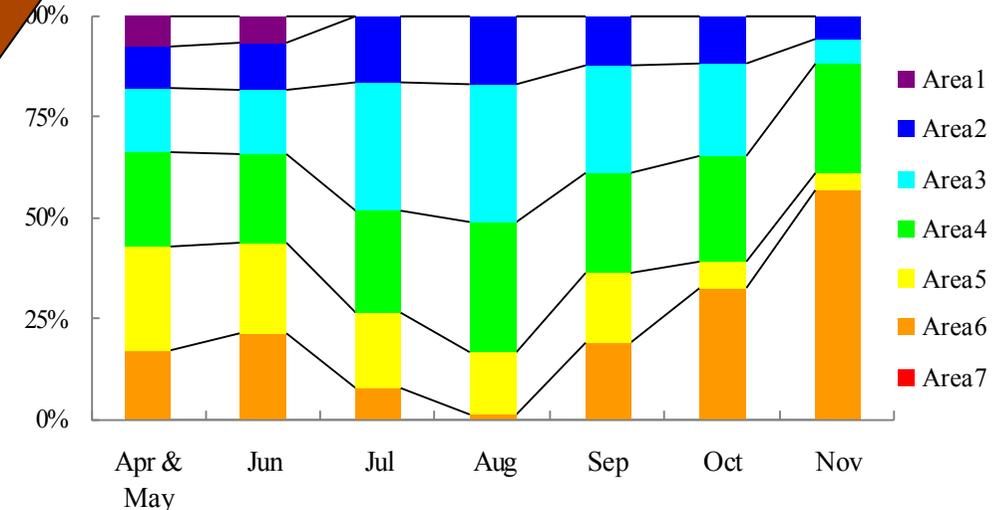
超音波発信器を装着したイトウ成魚15個体を，河川上流域から厚岸湖まで計23箇所に沈めた受信機で追跡し，周辺環境と比較

- 調査期間: 2010年4月～12月
- 調査水域: 別寒辺牛川水系・厚岸湖
(調査水域を7つのエリアに分割)

↓ 受信機の設置方法・追跡魚が受信される様子



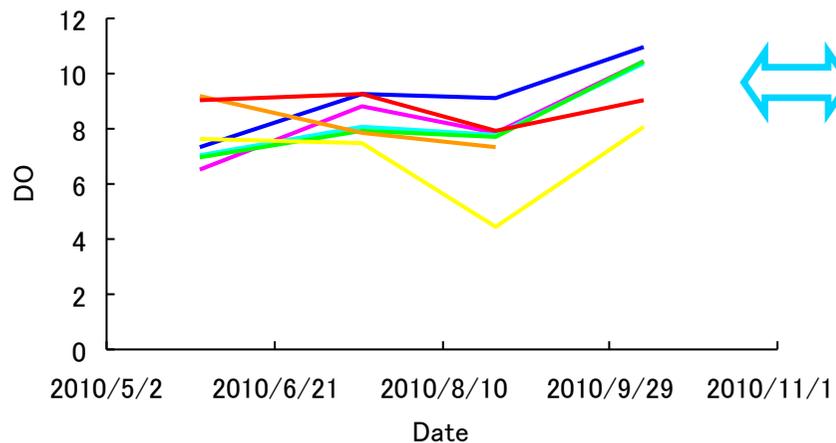
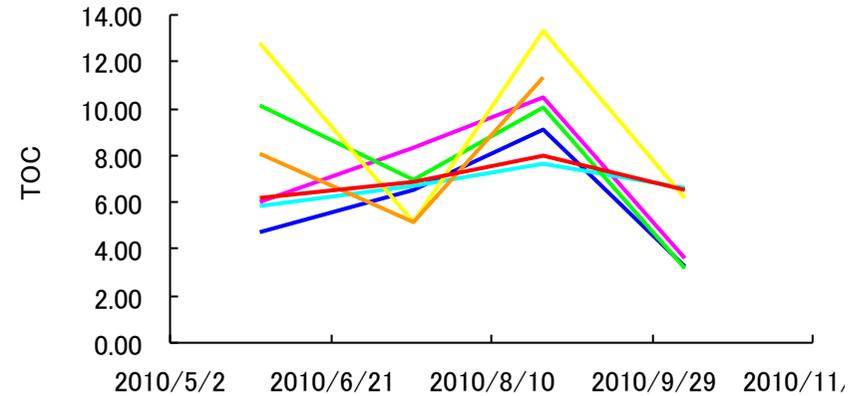
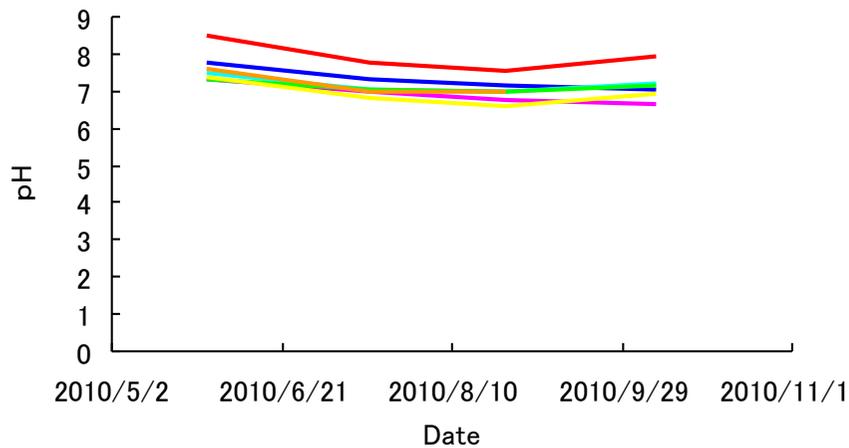
↓ イトウの河川利用状況(エリア1が最も上流)



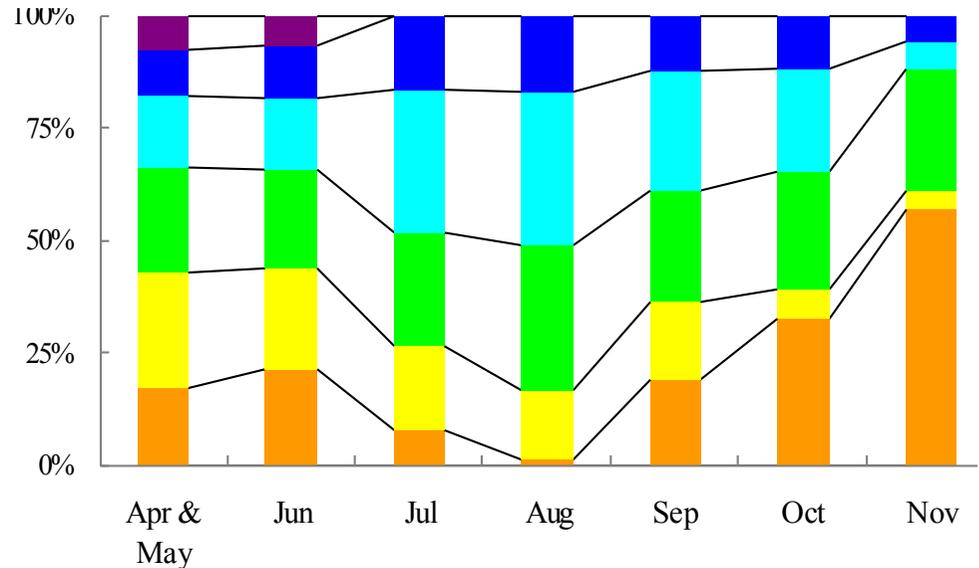
- 中・上流域を多く利用
- 冬には下流域を移る

こんなことがわかった(その1)

イトウの分布と河川水質の関係(COD, NO₂, NO₃, NH₃, PO₄ は季節変化なし)



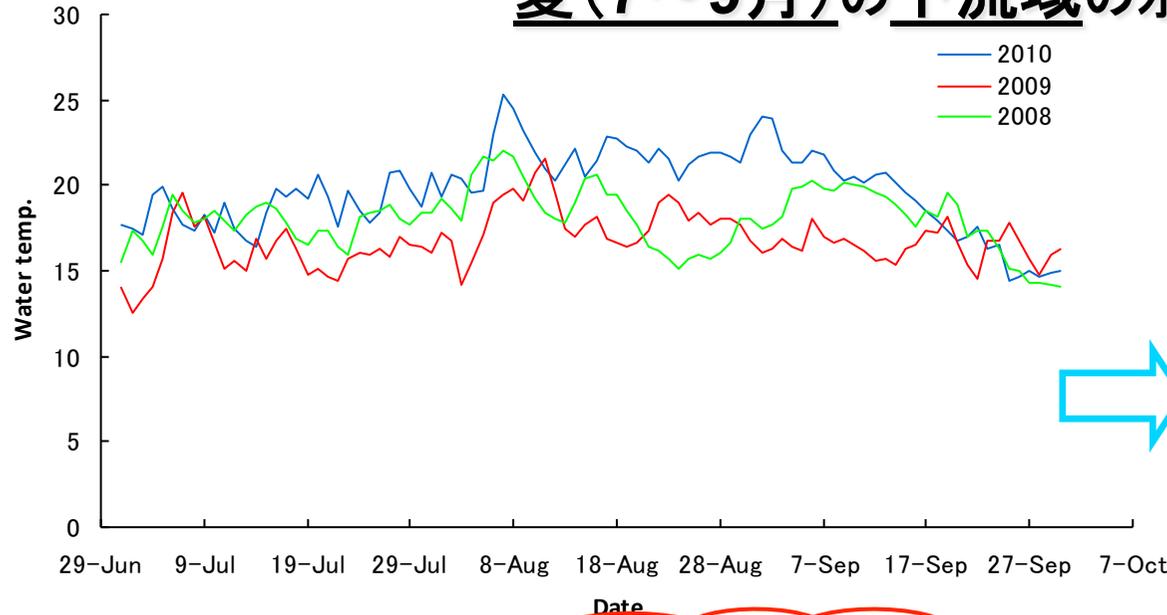
関係ありそう・・・?



- 魚が嫌がるほど川は汚れておらず、イトウの動きとも関係なさそう？

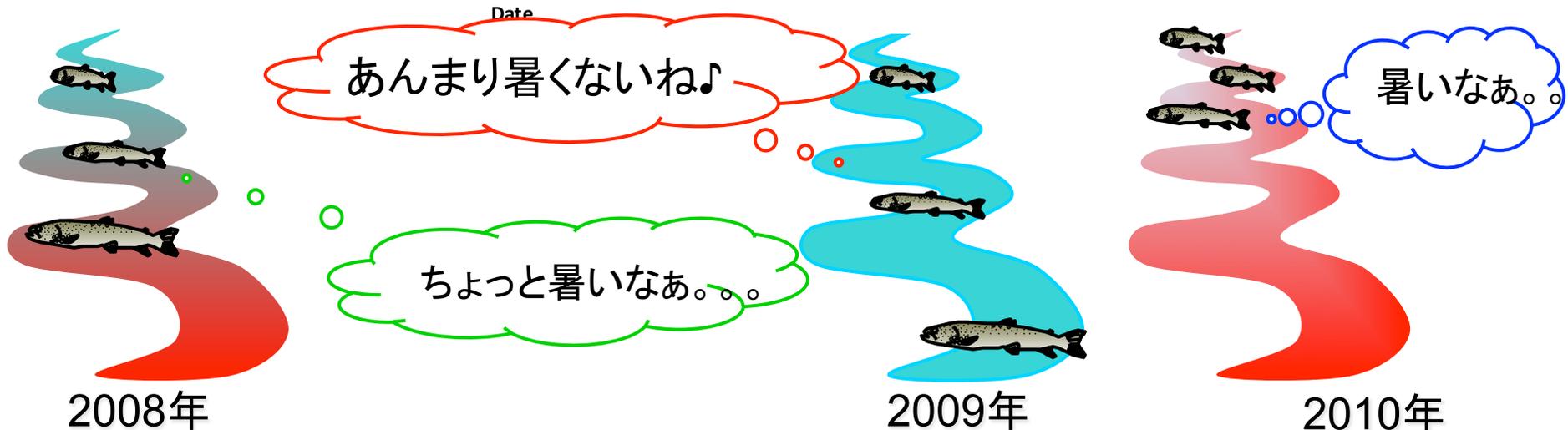
こんなことがわかった(その2)

2010年、2009年、2008年の調査結果の違い 夏(7~9月)の下流域の水温の比較



2008年・・・平均18.0°C
2009年・・・平均16.8°C
2010年・・・平均19.8°C

⇒ 2010年の方が一番暑い!



●イトウは年毎の水温によって利用する環境を変化させる?

本研究は平成22年度厚岸町助成金の補助を受けて行われました